

田沢小学校（H28 モデル校）の取組と成果

**このまちが好き このまちの人が好き 好きなまちをみんなで作る人
集中して学習し学び合う子、よい生活リズムを身に付けている子を目指して**

1 朝学習…陰山メソッドによる、集中力と基礎学力向上

全校体制で陰山式学習を進め、基礎学力を徹底させ、集中力を高め、学力の向上を図る。

学年	担任補助	月	火	水	木	金
1	田代	読書	音読 8:15-8:20 計算 8:20-8:30 (社会)	学級裁量	音読 8:15-8:20 計算 8:20-8:30 (社会)	読書
2	権瓶・山崎			音読 8:15-8:20 計算 8:20-8:30 (社会)		
3	教頭・木村					
4	猪又・山口					
5	植木・伊藤					
6	校長					

(1)音読で脳を活性化

教科書教材など、下学年約 700 字、上学年約 1000 字程度の文章を、学年の発達段階に即して選定して取り組む。

音読は、学力を高めるには、もっとも手軽でしかも効果の高い学習法です。音読の練習をするときには、次のような点に注意しましょう。

- ①スピード感を持って読めるよう繰り返し読む
 - ②大人がしっかり音読することで手本を示し、子どもは忠実にまねをする
 - ③口の開け方や、姿勢にも注意し、明瞭に発音する
 - ④何人かで音読するときは、耳をすましてみんなでそろえるようにする
 - ⑤古文、漢文など、リズムのいい文章を音読し、より高度な文章に挑戦する
- もっとも大切なことは、つまらずスピード感をもって音読すること。イメージとしては、音読によって頭の中をたくさんの言葉がぐるぐる回っていくような感じです。

(『ぜったい成績が上がる学習法』陰山英男 2016 毎日新聞出版 p. 48)

(2)計算で集中力向上

『ぜったい成績が上がる学習法』陰山英男 2016 毎日新聞出版を参考に、次のような方法で実施する。

効果が上がる百ます計算の指導

- ①百ます計算の数字の並びを変えない。
- ②毎日、タイムを計り、記録し、評価する。
- ③できる限り同じ時間に練習する。
- ④2 週間は同じ問題で練習する
- ⑤足し算、引き算、かけ算、それぞれ 1 分 30 秒以内を目標にする。

- ・到達段階に応じて問題数、時間を加減する。
- ・終わった子どもからの「ハイ!」に対して教師が時間を言い、子どもは問題用紙所定箇所にそれを記録。目安の時間が来たら終了し、答え合わせをする。
- ・補助職員と協力して、全体と個々の成績推移を把握し、適切に指導を継続する。個々の努力や向上を認め励まし、思うように成績が伸びない子の心情に十分配慮する。

(3)社会科プリントで知識定着

- ・『徹底反復 社会プリント 小学校3～6年』（小学館）を参考に、復習プリントを作成して取り組ませる。プリントは級外職員と担任とが相談の上、主として級外職員が作成する。
- ・一定時間取り組んだ後、答え合わせをする。
- ・宿題等で取り組ませ、朝学習でその成果を試すよう指導し、向上、努力を励ます。

2 漢字の前倒し学習

前掲書を参考に学年の漢字の前倒し学習（一定の期間・集中し・一気に取り組む）を全校体制で行い、学力の向上を図る。ここでいう学力・能力とは、漢字を読み書きする力、「覚える・練習・確かめ（習得）のルーティン」学習技能、学び方、頭の中に漢字を受け入れる基礎的な力（覚える回路）である。

学年	段階に応じた進め方	漢字数	完了時期
5・6年	漢字学習の進め方をきめ細かく指導した後は、家庭学習の計画的課題（ノルマ学習）ですすめる。	181 185	1学期末
3・4年	授業中、進め方を丁寧に指導してから徐々に家庭学習の計画的課題（ノルマ学習）ですすめる。	200 200	10月末
1・2年	授業中と宿題を連動させてすすめる。	160 80	11月末

使用教材：

1，2年生・従来通り、単元別の漢字ドリル」（前期、後期版？）

3年生以上『なかよし 漢字ドリル』（教育同人社）画数順（少→多で配列）

※ただし、単元ごとの漢字は「教科書の巻末漢字一覧」で覚えていかないと単元末ワークテストやWeb配信問題に対応できない。

3 Web配信問題を活用した指導の充実

- ・3年生以上が月に1回実施。期日は週予定等に位置付け、確実に実施する。
- ・算数指導書に貼付してあるつまずき傾向を教材研究に生かす。
- ・平成28年度のWeb結果の記録を教材研究に生かす。
- ・3年生以上が、月1回実施する。実施日は年間を見通して研究主任と教務が設定し、週予定に載せる。

4 4点を重視した授業改善（校内授業研究）

- ①ねらい、課題、流れを、授業者と学習者が共有する。
- ②学習者の追究意欲を高める課題を設定する。
- ③学習者が学び合いのよさを感じる「関わる活動」を設定する。
- ④学習者が本時の学習活動を振り返り、学んだことを自分の言葉でまとめ、授業者と共有する。

5 ふるさと教育の充実

- ・地域の人，もの，ことと関わる生活，総合，特別活動等の指導・活動計画改善

6 学校司書を生かした図書館教育の充実

- ・図書室の図書の配列を児童がより使いやすいように改善する。
- ・各学年の教科，生活，総合の年間計画に基づき児童が使いやすいように配列する。

7 中学校につながる家庭学習習慣づくり

田沢小学校が目指す家庭学習力

…身に付けさせたい力

幼稚園時代

家庭での絵本等の読み聞かせを楽しむ。 本を読むことを楽しむ力



小低	① まずは宿題を忘れずにやる。 <input type="text"/> やるべきことを自分で進める力
小中	② 提出期日が決められた課題に計画的に取り組み，やり遂げる。 <input type="text"/> やるべきことを計画的に進める力
小5	③ 宿題や課題を終えてから，さらに内容例を参考に，自分で学習内容を決めて取り組む。 <input type="text"/> 進んで家庭学習に取り組む力
小6	④ ①，②，③を，自主的に（保護者や家族から言われなくても，担任によるチェックがなくても）できる。復習や予習など，今の自分が学習を進めていくために役立つ，あるいは必要な課題をやる。予告されたテストなどの事前学習も含まれる。自分にとって何が必要かを考え，学習に取り組む。 <input type="text"/> 自分を振り返る力（メタ認知力）



中学校時代

自分の興味関心や課題意識，将来の目標達成への意欲，向上心から，自分に必要な学習内容を決めて学習に取り組む。

学ぶことの意味を考え，自分の目標に向かって努力する力